

2023年8月17日
イオン北海道株式会社

未来に伝えたい北海道の宝物「北海道遺産」へ 「ほっかいどう遺産WAON」の寄付金を贈呈いたします

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、8月21日（月）、「ほっかいどう遺産WAON」のご利用金額の一部を寄付金としてNPO法人北海道遺産協議会（以下、北海道遺産協議会）に贈呈します。

北海道とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、北海道の一層の活性化と道民サービスの向上に協働して取り組むことを目的に、2011年7月に包括連携協定を締結し、その取り組みの一つとして「ほっかいどう遺産WAON」を発行しました。このWAONをイオングループ各店舗やWAON加盟店で利用していただくことにより、その利用金額の一部を北海道遺産協議会に寄付し、各地の北海道遺産を次代に引き継いでいく活動に役立てていただいています。

2022年度の「ほっかいどう遺産WAON」の寄付金総額は1,609万6,910円となりました。この寄付金の活用にあたっては、24カ所から保全活動に活用するための助成金の応募があり、厳正な審査の結果、鹿部町「しかべ間歇泉」の間歇泉立ち入り規制柵改修事業や「北海道の集治監」のPR活動など22件が選ばれました。なお、2011年度からの寄付金累計は約1億4,384万円となりました。

当社は、今後ともお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、未来へ伝えたい北海道の文化や自然などの保全活動を支援してまいります。

【「ほっかいどう遺産WAON」寄付金贈呈式について】

1. 日 時： 2023年8月21日（月）
14:30～14:45
2. 場 所： 北海道庁本庁舎3階知事会議室
3. 贈 呈 先： NPO法人 北海道遺産協議会
4. 贈呈金額： 1,609万6,910円
5. 贈呈対象期間： 2022年3月1日～2023年2月28日



- | | | | |
|---------|---------------|---------|---------|
| 6. 出席者： | 北海道 | 知事 | 鈴木 直道 様 |
| （予定） | NPO法人北海道遺産協議会 | 会長 | 石森 秀三 様 |
| | イオン北海道株式会社 | 代表取締役社長 | 青柳 英樹 |

【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

【ご参考】

■ 2022年度寄付金による 「ほっかいどう遺産WAON」 助成先活動一覧

No.	遺産の名称	地域	団体名称	活動の名称	助成額
1	しかべ間歇泉	鹿部町	鹿部町	間歇泉立ち入り規制柵改修	500,000
2	しもかわの循環型森林文化	下川町	下川町	北海道遺産「しもかわの循環型森林文化」普及啓発事業	500,000
3	仙台藩白老元陣屋	白老町	白老町	北海道遺産仙台藩白老元陣屋魅力向上事業	500,000
4	空知の炭鉱関連施設と生活文化、小樽みなとと防波堤、小樽の鉄道遺産、北海道の集治監(樺戸、空知、釧路、網走、十勝)	空知地域、小樽市、月形町、三笠市、標茶町、網走市、帯広市	炭鉄港推進協議会(構成員にNPO法人炭鉱の記憶推進事業団、小樽市、三笠市を含む)	日本遺産「炭鉄港」構成文化財に係る共通サインの制作	500,000
5	北海道の集治監(樺戸、空知、釧路、網走、十勝)	月形町、三笠市、標茶町、網走市、帯広市	月形町、三笠市、標茶町、網走市、釧路市	北海道遺産「北海道集治監」のPR活動	500,000
6	天塩川、松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡	流域市町村	音威子府村若手まちづくりグループ nociw*	天塩川流域資源連携魅力化プロジェクト	500,000
7	「内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群」「オホーツク沿岸の古代遺跡群」	函館市、伊達市など	北の縄文道民会議	縄文世界遺産と2つの国宝の魅力発信事業	480,000
8	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群	函館市、伊達市など	伊達洞爺湖ミュージアム地域振興プラットフォーム(伊達市を含む)	世界文化遺産登録の内浦湾縄文遺跡群の「海からの視線」による広域的観光の地域振興活用の方策・提案	450,000
9	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群	函館市、伊達市など	縄文DOHNAN プロジェクト	ご当地カッキー第3弾「縄文を通じて地域を知る！縄文かるた」の作成	450,000
10	函館西部地区の街並み	函館市	函館コンクリート物語普及委員会	木田建築の価値を市民に～函館コンクリート物語 建造物編	450,000
11	旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群	上士幌町	ひがし大雪アーチ橋友の会	上士幌町鉄道資料館敷地にエゾヤマザクラ植樹事業	400,000
12	積丹半島と神威岬	積丹町	積丹町	積丹岬遊歩道安全対策事業	400,000
13	空知の炭鉱関連施設と生活文化	空知地域	「道外禁止!?」鉄道プロジェクト実行委員会	「空知地方の産炭地を結んだ鉄道の記憶」リーフレットの作成	300,000
14	空知の炭鉱関連施設と生活文化	美瑛市	一般社団法人ステイびばい	北海道遺産「空知の炭鉱関連施設と生活文化」を活用した滞在コンテンツづくり	300,000
15	サケの文化	石狩市	一般社団法人石狩シェアハピシティ計画	北海道遺産「サケの文化」の次世代担い手発掘プロジェクト	300,000
16	昭和新山国際雪合戦大会	壮瞥町	昭和新山国際雪合戦実行委員会	帰ってきた雪合戦！第35回昭和新山国際雪合戦大会事業	300,000
17	野付半島と打瀬舟	別海町	野付半島自然環境保全協会	野付半島の希少な鳥類(天然記念物等)についての展示パネルの作成	300,000
18	小樽の鉄道遺産	小樽市	NPO法人北海道鉄道文化保存会	北海道・トロッコ大集合	250,000
19	スキーとニセコ連峰、アイヌ語地名	ニセコ地域	ニセコ発酵ツーリズム推進協議会	北海道遺産「スキーとニセコ連峰」魅力発信事業～ニセコ発酵体験プログラムの造成～	250,000
20	天塩川	流域市町村	士別市	天塩岳避難小屋トイレ外壁修繕	170,000
21	大友亀太郎の事績と大友堀遺構	札幌市	札幌村郷土記念館保存会	大友亀太郎の実績を伝える新パネルの制作	150,000
22	ピアソン記念館	北見市	特定非営利活動法人ピアソン会	ピアソン記念館オリジナルエコバッグ(英語版)	50,000

* 北海道遺産の一例 *



〈しかべ間歇泉〉



〈北海道の集治監〉



〈仙台藩白老元陣屋〉

■「ほっかいどう遺産WAON」の概要について

発行日：2011年7月28日

発行手数料：300円（税込）

※iOS版「WAON」アプリでも発行が可能です。

その際、発行手数料は無料になります。

累計寄付金額：1億4,384万8,414円

発行枚数：約32万5,000枚（2023年2月末現在）



寄付活用先：北海道遺産に活用

使用可能場所：道内で約1万6,900箇所（2023年2月末時点）

※自動販売機・タクシー・ドライバー端末を除く

使用場所一例：イオン系列スーパーや「ローソン」、「ファミリーマート」、「セイコーマート」、「ツルハ」、「サツドラ」など

■北海道遺産について

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、各分野から選ばれております。2001年10月22日に第1回選定分25件が、2004年10月22日に第2回選定分27件が、2018年11月1日に第3回選定分15件が、2022年10月13日に第4回選定分6件と名称変更1件が決定・公表され、北海道遺産は総計74件となりました。



北海道遺産の分布（全74件）



【北海道遺産に関わる取り組みについて】

(一例)

◆北海道イオン同友店会で海岸のクリーン活動、北海道遺産の見学を実施

当社とイオンモール株式会社が北海道で運営する各SC（イオン・イオンモール）に出店しているテナント企業の組織体である北海道イオン同友店会では、2022年度より北海道遺産協議会の皆さまのご協力のもと道内各地での海岸のクリーン活動と北海道遺産の見学を行っており、2023年度以降も継続して実施しています。

※海岸クリーン活動・北海道遺産見学の実績と計画

2022年 実績		2023年 計画	
クリーン活動	北海道遺産見学	クリーン活動	北海道遺産見学
鹿部町の海岸	「しかべ間歇泉」 「内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群（南茅部）」	厚岸町の海岸	「蝦夷三官寺 厚岸国泰寺」
浜中町の海岸	「霧多布湿原」	鹿部町の海岸	「しかべ間歇泉」
増毛町の海岸	「増毛の歴史的建物群（駅前の歴史的建物群と増毛小学校）」	小清水町の海岸	「ワッカ/小清水原生花園」 「北海道の集治監（網走）」
積丹町の海岸	「積丹半島と神威岬」	増毛町の海岸	「増毛の歴史的建物群」 「駅前の歴史的建物群と増毛小学校」
		白老町の海岸	「仙台藩白老元陣屋」

◆利尻島の食と観光PRイベントを開催

これまで北海道庁の離島振興政策への協力などでつながりのあった「利尻島」を盛り上げる取り組みとして、2022年11月にイオンモール札幌発寒で利尻島の「食と観光のPR」イベントを開催しました。イベントでは、利尻昆布の花折体験や利尻島のクイズ大会を実施、また、同期間のイオン道産デーでは利尻産の「天然活鮑」を全道展開し大変ご好評いただきました。

【その他、北海道との取り組みについて】

当社は、北海道との包括連携協定を基に、ご当地WAONを通じた寄付をはじめとして、まちづくり活動の推進や環境保全活動など、さまざまな取り組みを実施しています。

(一例)

◆「サッポロ生ビール黒ラベル」の売上の一部を北海道内の子ども食堂へ寄付

サッポロビール株式会社さまとの共同企画で、「サッポロ生ビール黒ラベル」の売上本数に応じて、この売上の一部を北海道内の子どもの居場所づくり支援のため、北海道内の子ども食堂に寄付するキャンペーンを実施しました。

◆北海道で開催されるインターハイを当社店頭で応援

2023年度の全国高等学校総合体育大会（通称：「インターハイ」）が36年ぶりに北海道で開催されることから、6月24日（土）から8月13日（日）までの期間、店頭の「デジタルサイネージ（電子掲示板）」を活用した大会の周知活動を行うなど、全国から集まる高校生たちを応援する取り組みを実施しています。



▶「北海道イオン同友店会」
厚岸町の海岸で実施したクリーン活動



▶サッポロ黒ラベルの売上の一部を
北海道内の子ども食堂に寄付



▶道産デーにて利尻産「天然活鮑」を販売

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

この取り組みはSDGsの目標4、8、9、11、14、15、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。

